

2024年度中学校 演奏・創作コース入学試験

視 唱 ・ 実 技 課 題

国立音楽大学附属中学校

視唱・実技試験課題について

2023年6月17日

視唱と演奏実技

(ア) 視 唱 16小節程度の新曲視唱。

(イ) 演奏実技 (A~Gの中から1つ選び受験すること)

- A ピアノ
- B オルガン
- C 電子オルガン
- D 弦楽器 ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ (グランドハープのみ)
- E 管楽器 フルート・オーボエ・クラリネット・サクソフォーン・ファゴット・ホルン
トランペット (コルネットでも可)・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ
- F 打楽器 小太鼓・マリンバ
- G 声楽

演奏実技試験内容

*楽曲はすべて暗譜で演奏し、くり返しはしない。

*弦楽器・管楽器・打楽器は伴奏なしで行う。

*B(1)・C・D・E・F・Gの受験生は、ピアノの演奏試験は行わない。

A. ピアノ 下記のソナタの中から1曲選び、その第1楽章を演奏する。

*ハイドン Hob.XVI/2 変ロ長調



*ハイドン Hob.XVI/23 ヘ長調



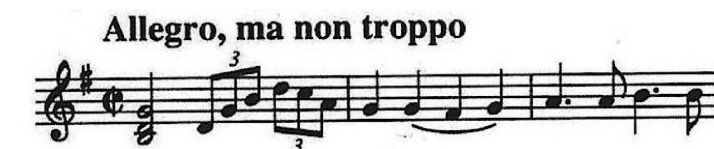
*ハイドン Hob.XVI/G1 ト長調



*モーツァルト K. 545 ハ長調



*ベートーヴェン Op.49 No.2 ト長調

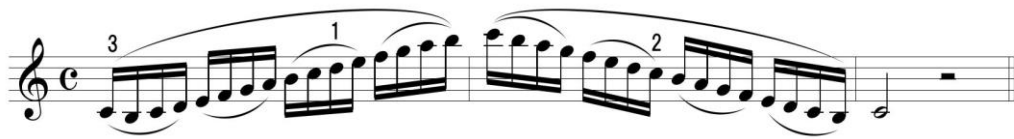


- B. オルガン (1) 《オルガンで受験する場合》自由曲
(2) 《ピアノで受験する場合》バッハ作曲インヴェンションより任意の1曲

- C. 電子オルガン 任意の楽曲。ジャンルは問わない。
使用機種は、ELS-02C とする。

- D. 弦楽器 調弦を自分でできるようにしておくこと。
《ヴァイオリンの場合》
(1) C dur (ハ長調) の音階* を演奏する。
(2) 任意の楽曲。
以上 (1) (2) を演奏する。

*音階



《ヴァイオリン以外の弦楽器の場合》
任意の楽曲。

入学試験で演奏された曲目例 (ヴァイオリン)

J. B. アッコーライ	コンチェルト 第1番
ヘンデル	ヴァイオリンソナタ 第2番・第4番
ベリオ	コンチェルト 第9番
ヴィオッティ	コンチェルト 第23番
J. S. バッハ	コンチェルト 第1番・第2番
モーツァルト	コンチェルト 第3番・第4番・第5番
エックレス	ソナタ ト短調
ラロ	スペイン交響曲 第1楽章

- E. 管楽器 任意の楽曲、または練習曲。

- F. 打楽器 任意の楽曲。

- G. 声楽 下記の楽曲の中から1曲選び、その1番を指定された調性で歌唱する。
(1) 《ふるさと 高野辰之作詞 岡野貞一作曲》「ト長調」または「ホ長調」
(2) 《花 武島羽衣作詞 滝廉太郎作曲》「ト長調」

*伴奏者は本校で用意する。(「ふるさと」は終わりの4小節を前奏とする。)

課題曲参考楽譜：ドレミ楽譜出版社《日本抒情歌全集1 長田 暁二編》